寄生虫の予防をしましょう

寄生虫には体の表面につくもの(外部寄生虫)と体の中にすみつくもの(内部寄生虫)があります。
どちらの寄生虫もネコちゃんの健康を害し、中には生死にかかわるものもあります。
予防して快適に過ごせるようにしてあげましょう。

《瓜実条虫を体内に持つノミ》

A. ノミ

ネコちゃんを吸血することでかゆみなどの皮膚炎を引き起こすだけではなく、
ノミアレルギーやノミの体内に潜む瓜実条虫という腸内寄生虫の原因になります。
室温 13℃以上で繁殖・活動できるため、暖房のきいた室内では 1 年を通しての予防が必要です。

B. ダニ(マダニ)

庭や草むらなどに潜んでいるマダニの幼虫が人の服や靴に付着して室内に侵入することがあるため、完全室内飼いのネコちゃんでも感染する可能性があります。ネコちゃんの体の表面に噛みついて吸血し、皮膚炎のほか、ダニに含まれる病原体が原因となって重度な貧血を引き起こすことがあります。
人も刺されることで SFTS(重症熱性血小板減少症)を引き起こす危険性があります。

C. フィラリア

心臓や心臓から肺に向かう血管（肺動脈）に寄生する 20 ㎝以上の細長い虫です。
感染すると呼吸困難や食欲低下がみられます。ネコちゃんの心臓は小さいため、少数のフィラリアの寄生でもショック状態に陥り、死亡することがあります。
ネコちゃんについては検査方法や治療方法が確立されていないため、予防することが重要です。

D. 猫回虫・猫鉤虫・瓜実条虫・猫条虫・犬小回虫・多包条虫

腸管内に寄生し、下痢や栄養障害を引き起こします。
猫回虫は人の幼児の感染も問題となります。

《瓜実条虫》

E. ミミヒゼンダニ

小さなダニが耳の中に寄生し、重度な外耳道炎を引き起こします。

《皮膚につけるタイプのくすりで簡単に予防できます》

予防薬にはノミとダニ（A,B）を予防するものと、それに加えてフィラリア（C）やおなかの虫（D）、ミミヒゼンダニ（E）も一度に予防できる便利なものがあります。
季節や環境を考えて選びましょう。

★ 1 カ月に一度の予防薬の使用で、イヤな寄生虫からネコちゃんを守ってあげましょう